

第4学年 梅・竹組 国語科『いろいろな意味をもつ言葉』略案（1／2）

指導者 4年梅組 大山 知巳
4年竹組 高橋 寿喜子

1. 日時 梅組 11月20日（火） 2校時（9：20～10：05）
竹組 21日（水） 2校時（9：20～10：05）

2. ねらい ○ いろいろな意味をもつ言葉があることを知り、それらの言葉への興味・関心を高める。
○ いろいろな意味をもつ言葉について、理解を深めることができる。

3. 本時の実際

時 間	学 習 活 動 と 児 童 の 動 き	教 師 の 支 援 及 び 評 価	セ ン タ ー の 先 生 の 支 援
7分 3分	1. 「とるものなあとに」クイズをする。 2. 本時の課題について確認する。 同じ音の言葉の、いろいろな意味について考えよう。	○ 本時の学習の導入としてクイズを行い、児童の興味・関心が高まるようにする。 ○ 教科書P30の詩から抜粋した黒板掲示用カードを準備しておく。	
15分	3. クイズで出題した「とる」がどんな意味か話し合う。	○ 動作をしてみたり、国語辞典で調べたりすることで「とる」意味の理解が深まるようにする。 ○ 表記する漢字の違いに気づく児童がいる場合は、適宜取り上げるようにする。	
15分	4. 「とる」以外のいろいろな意味をもつ言葉について、クイズを通して考える。	○ クイズに答える要領がわかるように、出題されたら板書していく。	◇ 「 を」の部分を考えるクイズや、「を 」の部分を考えるクイズを出題し、その意味や漢字表記も考えることができるように助言する。
5分	4. 本時の振り返りをする。	○ 大事だと思ったこと、言葉についての発見、今後の国語学習への思いなどについてふりかえるように促す。	◇ 本時の感想及び今後の国語学習に向けて助言する。